

11月17日・18日に米国マイアミにて開催されたAATS（米国胸部外科学会）主催のSurgical Treatment of Arrhythmias and Rhythm Disorders（STARS）に新田教授と共に参加してきました。このSTARSは、Aortic SymposiumやMitral Conclaveと同様のAATSの分科会の一つとして、不整脈の外科治療に関する専門的な発表や議論と医師の生涯教育を目的として今年より始められた学会で、当科の新田教授もProgram Committee/Facultyの一人として企画から携わっていました。

私は17日夕方に行われたposter competitionで“Surgery for Atrial Fibrillation with Aortic valve disease”という演題で発表を行いました。パワーポイントのスライド一枚で作った形式のA4サイズのポスターを大きなモニターに映し出してその前で発表するというものでした。

本学の他にも、兵庫医大の光野先生や現在ロンドンに留学中の甲斐沼先生と日本人が三連続で発表しました。本年4-6月に私がWest Virginia大学に短期留学した際の恩師であるBadhwar教授にも再会することが出来ました。

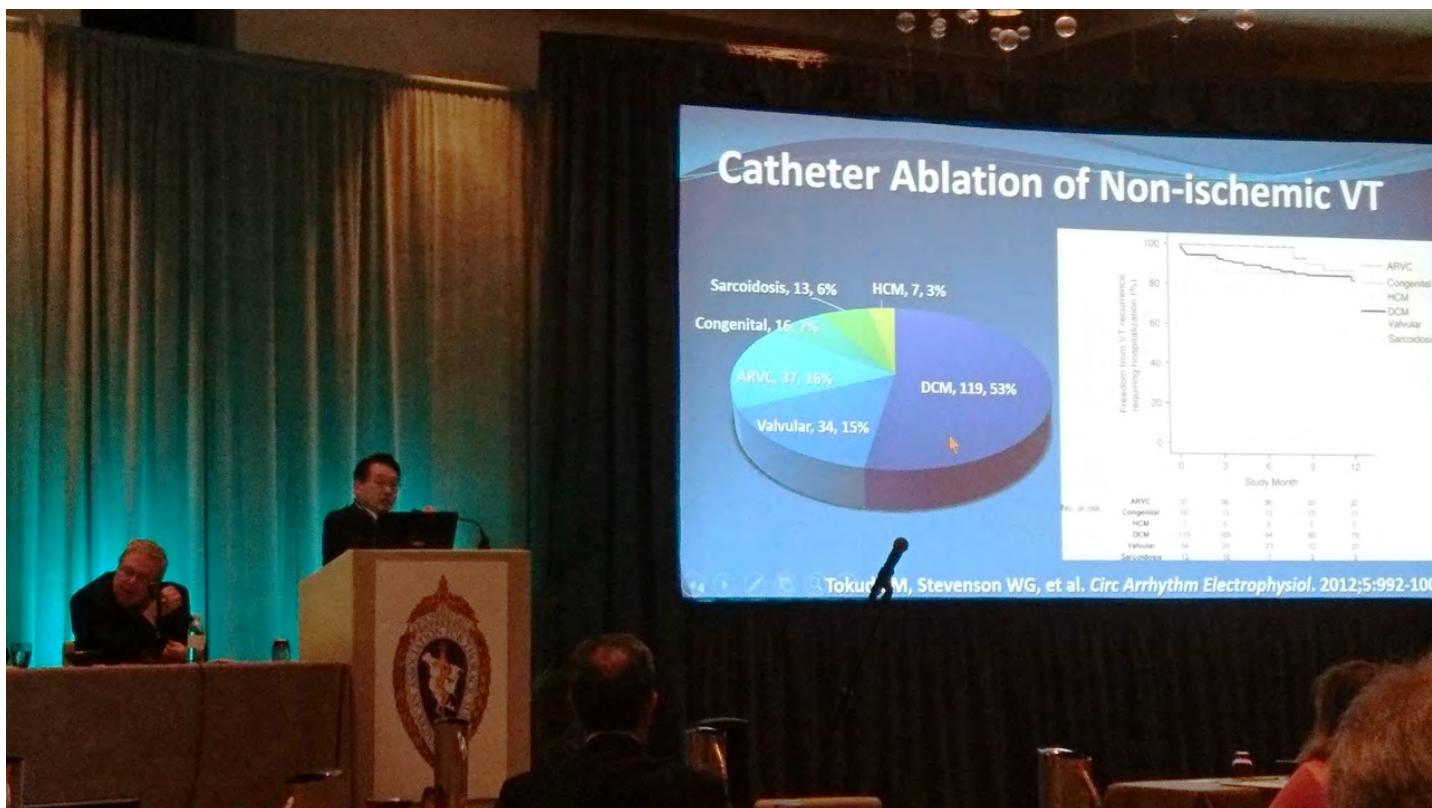
翌日18日は新田教授が心房細動のセッションの座長を務めるとともに非虚血性心室頻拍に対する外科治療について講演を行いました。帰りの乗り継ぎをしたシカゴでは気温摂氏0度でしたが、マイアミは非常に暖かく、日本で言えば沖縄のようなイメージでしょうか。ガイドラインから実際の手術手技、今後さらに発展するであろうhybrid ablationに至るまで、様々な先生方が講演され、大変inspirationを刺激された体験でした。



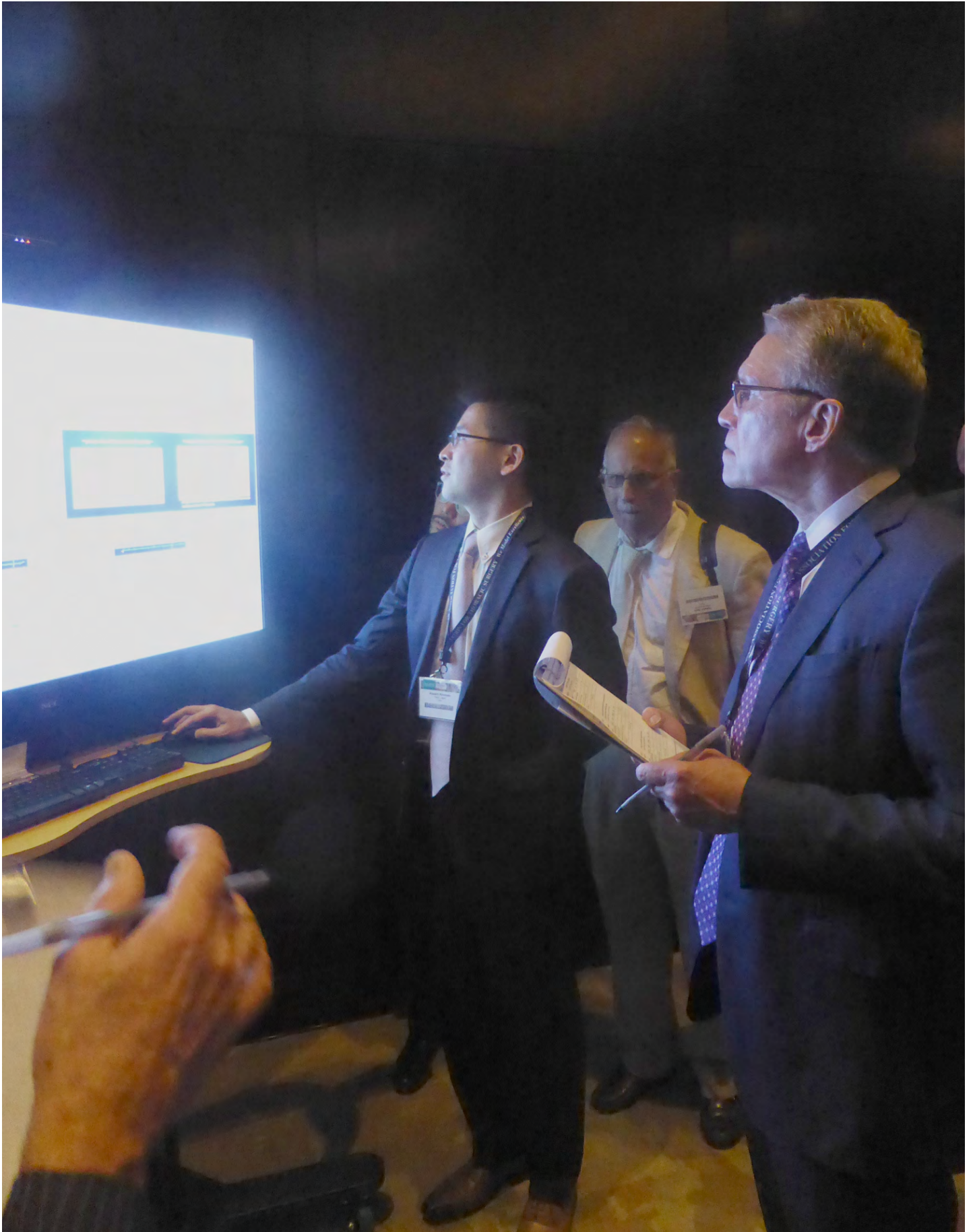
poster competitionの様子



“legend” Dr Cox と Dr Damiano



講演中の新田教授



発表中の筆者